

平成29年度に計画する定期点検・機器更新

- 平成29年度は、定期点検のほか、安全・漏洩に関わる設備等を中心に、下表の設備の更新等を計画、実施

事業別区分	計 画	状 況
トランス・ コンデンサ 処理設備	<ul style="list-style-type: none"> ・1期 洗浄設備真空機器類更新整備 ・1期 液処理各槽弁類・駆動機器OH ・2期 真空加熱分離設備 構成機器予備品整備 ・2期 真空加熱分離設備 液系配管更新 ・2期 中間処理設備の機器・配管等の劣化対策 ・2期 各所 温度調節計更新、計装部品購入 ・2期 窒素用・計装用空気圧縮機部品交換 ・2期 換気空調冷却器、チラー冷却器 圧縮機・熱交換器等更新 ・2期 非常発電設備始動用バッテリー更新 ・2期 自動倉庫老朽部品更新 ・1期・2期 建築土木設備老朽対策 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部更新実施・8月定修時 ・8月定修時 ・一部予備品購入手配 ・腐食対応で6月実施 ・活性炭処理フィルター整備 ・随時実施中 ・個々に停止・実施 ・個々に停止・実施 ・11月定修時 ・月例点検・11月定修でPLC・インバータ交換 ・外構舗装・白線補修等
安定器及び 汚染物等 処理設備	<ul style="list-style-type: none"> ・プラズマ溶融分解炉回り 機器更新・補修等 ドラム缶搬送コンベア、各種センサー類の更新 ・プラズマ排気処理設備 機器更新・補修 長寿命消耗品(バグフィルターろ布・触媒反応塔触媒)交換等 ・プラズマ排気処理設備耐火物更新 恒温チャンバ上部耐火材・熱交換器耐火材更新 	<ul style="list-style-type: none"> 5月1系補修時実施内容 ・エア・水自動弁・流量計更新 ・減温塔噴射水配管SUS化 ・NO.1バグろ布 ・恒温チャンバ下段耐火材

注) 下線なしの設備は状態基準保全、下線ありの設備は時間基準保全

平成29年度安全対策実施スケジュール

資料2-2 ②

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考		
保全計画	日常点検	←●→	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	定期点検	法定点検	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・クレーン(毎月) ・計量器(8月、11月) ・2期ボイラー(11月)	
		自主点検		● 消防設備			○			○					・消防設備(5月、11月) ・受配電設備(11月) ・1期ボイラー(8月)	
		設備点検	トランス、コンデンサ設備	●	11月に変更		1期	←8.8~9.8→		2期	←10.27~11.29→					
			溶融炉	1号炉		←4.22~6.5→		○	○	○	○	←10.26~12.7→	○	○	○	○: 炉内点検 ↔: 炉補修
				2号炉	●	●	●		←7.17~8.25→		○	←11.3~10→	○	←1.4~2.12→		
	前処理設備		←5.8~5.20→													
	長期保全計画の機器更新等	1期	洗浄設備真空機器類更新整備				←→	→								
		液処理各槽弁類・駆動機器OH					←→	→								
		2期	VTR設備の機器・配管等の劣化対策		←→ 常圧系配管更新	←→ 液系配管更新										
			VTR設備機器の劣化対策							←→	→					
			中間処理設備の機器・配管等の劣化対策							←→	→					
			換気空調・チラー冷却器 機器等更新		←→	→	←→	劣化品随時交換								
		窒素用・計装用空気用圧縮機部品交換							←→	→						
		非常発電設備始動用バッテリー更新							←→	→						
共通		建築土木設備老朽対策		←→	→	←→	随時補修									
溶融炉		分解炉廻り機器更新・補修	1系	←→ エア・水自動弁・流量計更新	2系	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→		
	排気処理設備機器更新・補修		←→ 減温塔噴射水配管SUS化		←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→			
	恒温チャンバ・熱交換器耐火物更新		←→ 恒温チャンバ下段耐火材		←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→			
トラブル防止	リスクアセスメント推進活動	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	推進会議	
	他事業所のトラブル水平展開	他事業所トラブル発生時に逐次対応														
	安全操業に向けた活動	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	安全操業協議会	
防災対策	情報収集	国、福岡県、北九州市の情報を逐次収集														
	防災対策の検討				○						○				検討会議	

※ ○印は計画、●印は実施済み、←→ 計画 ←→ 実施済み

トラブルの水平展開状況(平成28年12月～平成29年6月)

資料2-2 ③

No	事業名	発生年月日	事象	件名	概要	北九州事業所での対応
1	豊田	平成28年12月1日	漏洩(PCB外)	遠心分離機整備中における抜き出し油の1階床面への滴下及び1階でのJESCO社員の作業服への付着	遠心分離機の定期点検のため6階遠心分離エリア内の上部デッキ部分(遠心分離機設置場所)で配管外し作業を行っていた。二人作業で配管を外していたが、手で支持していた液受け用のオイルパン(230mm幅×330mm長さ×90mm高さ)を揺らしたため、内部の抜き出し油(鉱物油)数10ccが滴下した。滴下した抜き出し油は1階床面に滴下するとともに1階にいたJESCO社員の服に付着した。	①類似作業がないことを確認 ②トラブル情報を共有化し、各作業員へ注意喚起
2	北海道	平成28年12月6日	労働災害	非常用発電機室メンテナンス用扉による左手指3本の打撲	非常用発電機の運転停止後、冷却用排風機の運転中に、非常用発電機室内の油漏れを点検するためメンテナンス用扉(左右観音開き)の左側を開け、その後、右側の扉を開けて内部を覗いた際に左側の扉が突然閉まり、フレームに触っていた左手の中指・薬指・小指の中指節関節(付け根側)と近位指節間関節(付け根側の次の関節)の間を挟み、打撲したものである。	①類似作業がないことを確認 ②トラブル情報を共有化し、各作業員へ注意喚起
3	豊田	平成29年1月6日	環境安全異常	第一蒸留塔還流液の手動ダイヤフラム弁からの漏洩	5階の第一蒸留塔へ還流液を送る配管を覆っている保温剤から液体が滴下し、5階の床に少量漏洩するとともに、この配管から下方に枝分かれした配管を伝わって液体が4階に滴下していた。保温材を剥がしたところ、手動ダイヤフラム弁から漏れていた。	①類似設備がないことを確認 ②トラブル情報を共有化し、各作業員へ注意喚起 ③少量の漏れトラブルについて、日常点検や工事管理方法の改善を検討
4	北海道	平成29年1月20日	環境安全異常	抜油配管の逆洗浄における洗浄液の漏洩	ラジエーター部分の抜油後の抜油配管内の残液回収時に、抜油配管に詰まりが発生し、詰まりを除去するための逆洗浄を実施した際に、抜油管から洗浄液が噴出したものである。	①類似作業がないことを確認 ②トラブル情報を共有化し、各作業員へ注意喚起
5	北海道	平成29年3月4日	環境安全異常	真空ポンプ吐出フランジからの第2再生溶剤の漏洩	定検終了後の設備立上に伴う気液分離槽の液張り作業中に真空ポンプの吐出配管フランジ部分から溶剤が漏れ出した。漏れ出した溶剤は真空ポンプ下部のオイルパンで回収したが、一部は設備の部材を伝って階下に滴下して液溜りとなった。溶剤が漏れ出したフランジ(真空ポンプ吐出側)のボルト・ナットが緩んでいる状態を確認した。	①類似設備がないことを確認 ②トラブル情報を共有化し、各作業員へ注意喚起 ③少量の漏れトラブルについて、日常点検や工事管理方法の改善を検討